



またもや逐電とは！



異様な目つきをして現れ、そして変な写真を撮りつつ逐電す。
自ら極秘写真を撮ったと豪語するは逐電名手の苦蔵なり。

同年輩らと邂逅したる翌日には、怪しい動向を見せながら
あらぬ方向を指しつつ、逐電す。
その業態を決して露わにはせぬゆえ、人は「怪しの逐電」と呼ぶが
その実、本心は単なる変態である。

その変態苦蔵、またもや逐電を凶ったという。
さて今回の逐電の顛末は如何に・・・ \(>逐<)。

逐電クゾーを探索せよ！

<http://p.booklog.jp/book/65694>

著者：chikuden

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/chikuden/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/65694>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/65694>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ